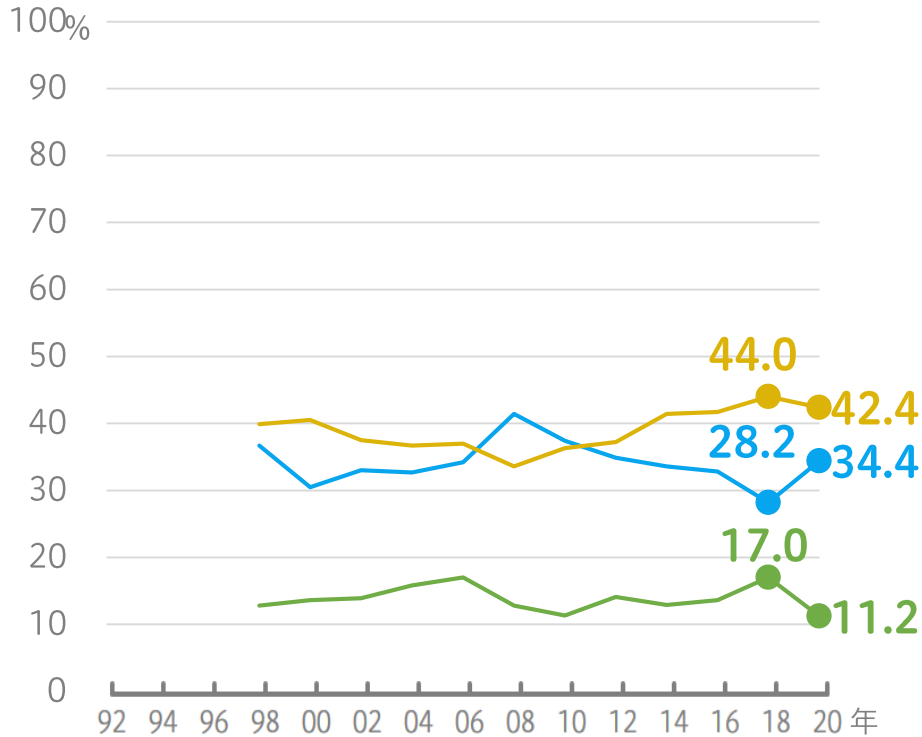


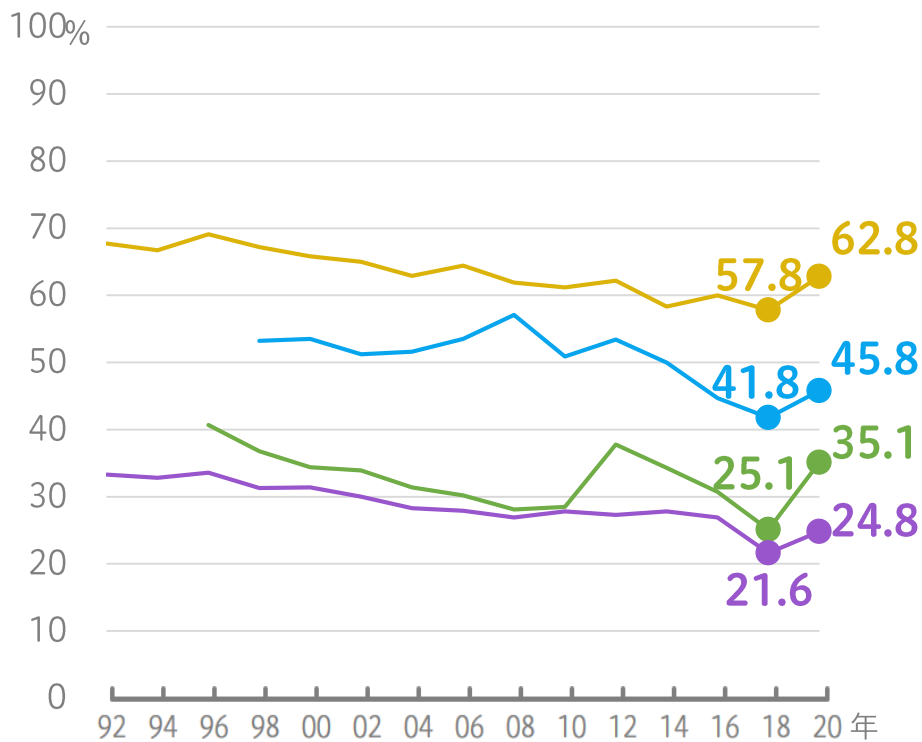
家計の先行きは不透明



今後の自分の経済状態は変わらないと思う
今後の自分の経済状態は苦しくなると思う

今後の自分の経済状態は楽になると思う

リスク管理意識の浮上



健康に気をつけた生活をしている

耐震構造など災害に対応した設備を充実させたい

事故や災害に備えた生活をしている

老後のことを考えた生活をしている

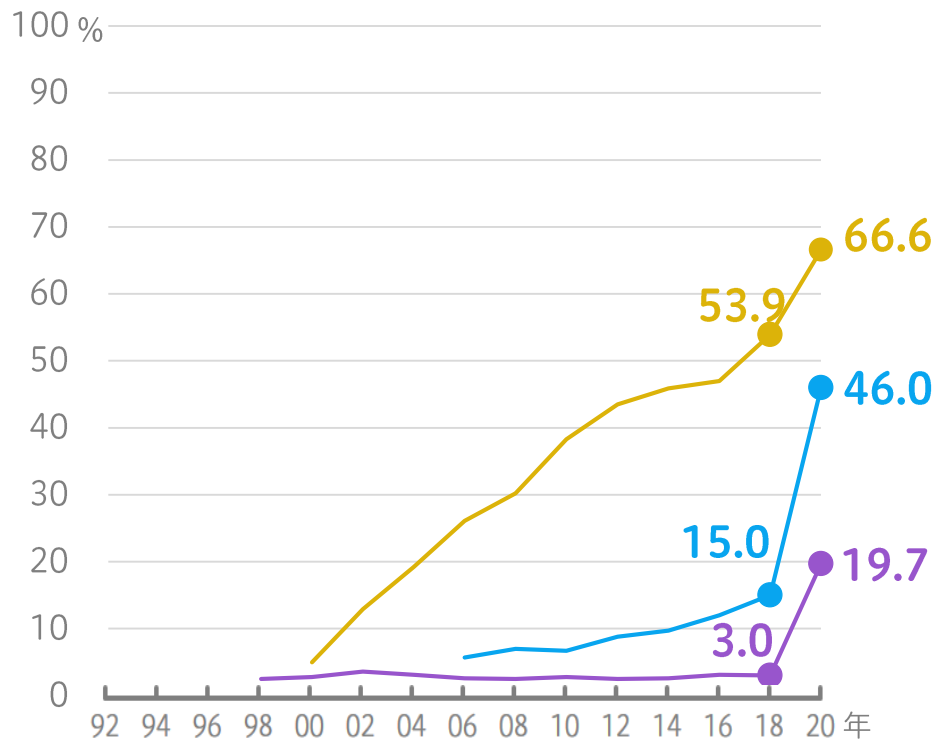
環境の認識

- ✓ 悲観へ一転
- ✓ 先行きは不透明
- ✓ リスク管理意識の浮上・・・



「世の中は変わりうる」意識の覚醒

リモートライフの加速

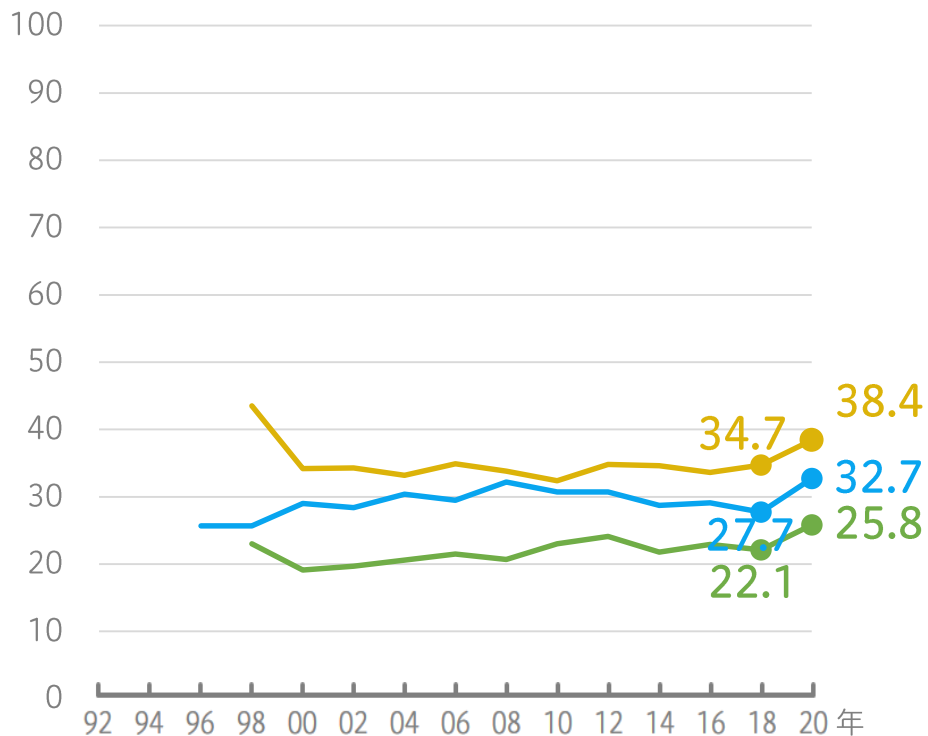


1年以内にオンラインショッピング
(インターネットなど)で買い物をした

テレビ電話(ビデオ通話)サービスを利用した

1年以内に在宅勤務をした(有職者ベース)

ひとり志向の上昇



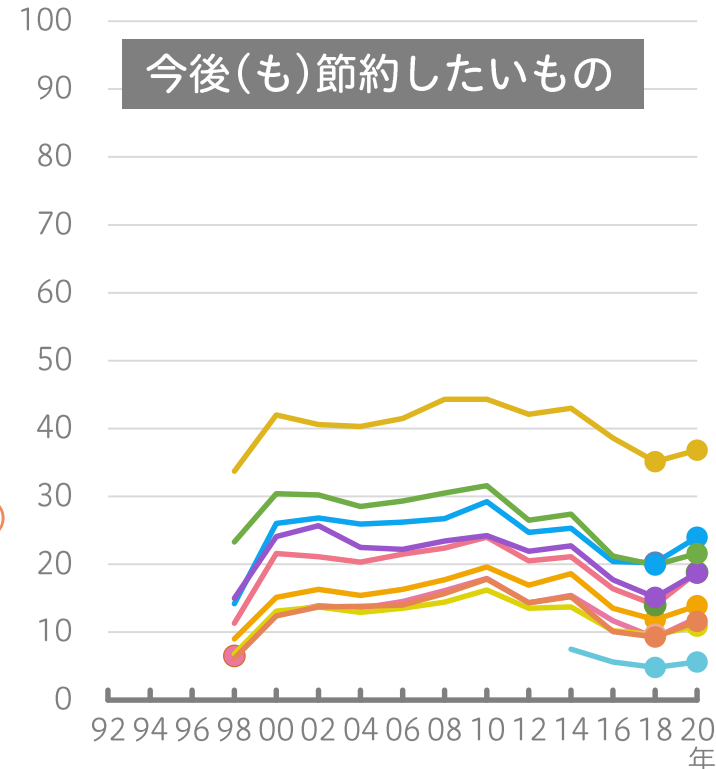
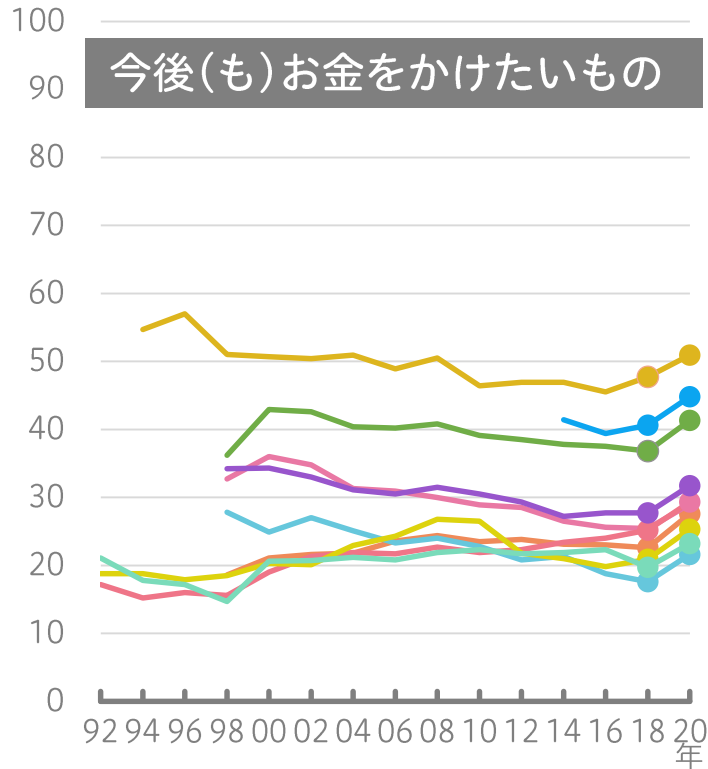
自由な時間はひとりですごしたい方だ
ひとりですごす時間を増やしたい
趣味や遊びは人と一緒にやるより
ひとりでやる方が好きだ

お金のかけどころが個々バラバラに

今後(も)お金をかけたいもの

- 旅行
- 老後の暮らしの準備
- 趣味
- 健康・リラックス
- 外食
- 美容(散髪、エステなどを含む)
- 家電品
- 交際(飲食を含む)
- 内装・インテリアなど

今後(も)節約したいもの



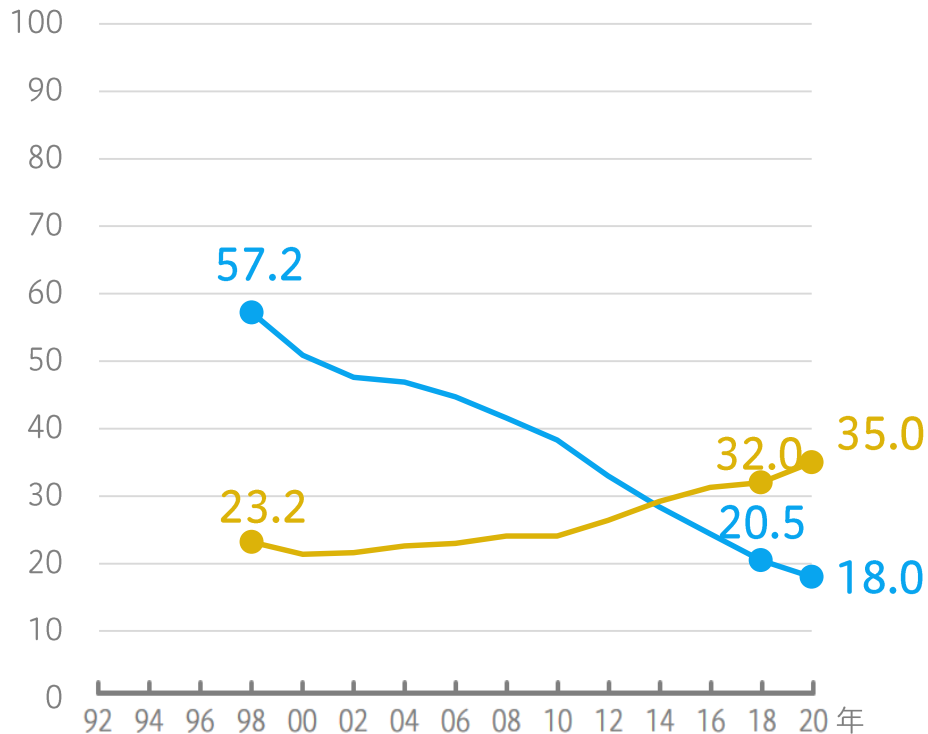
個人の変化

- ✓ リモートライフ到来
- ✓ ひとり志向の上昇
- ✓ お金のかけどころが個々バラバラに・・・



「わたし基準」による幸せの追求

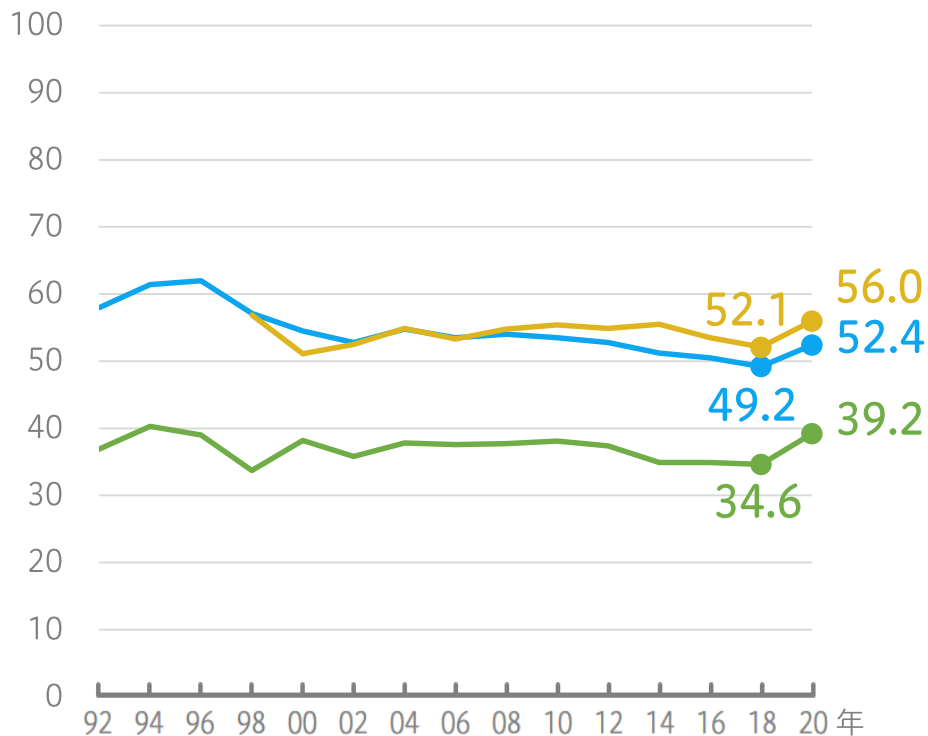
友だち関係の再編成



人づきあいは面倒くさいと思う

友人は多ければ多いほどよいと思う

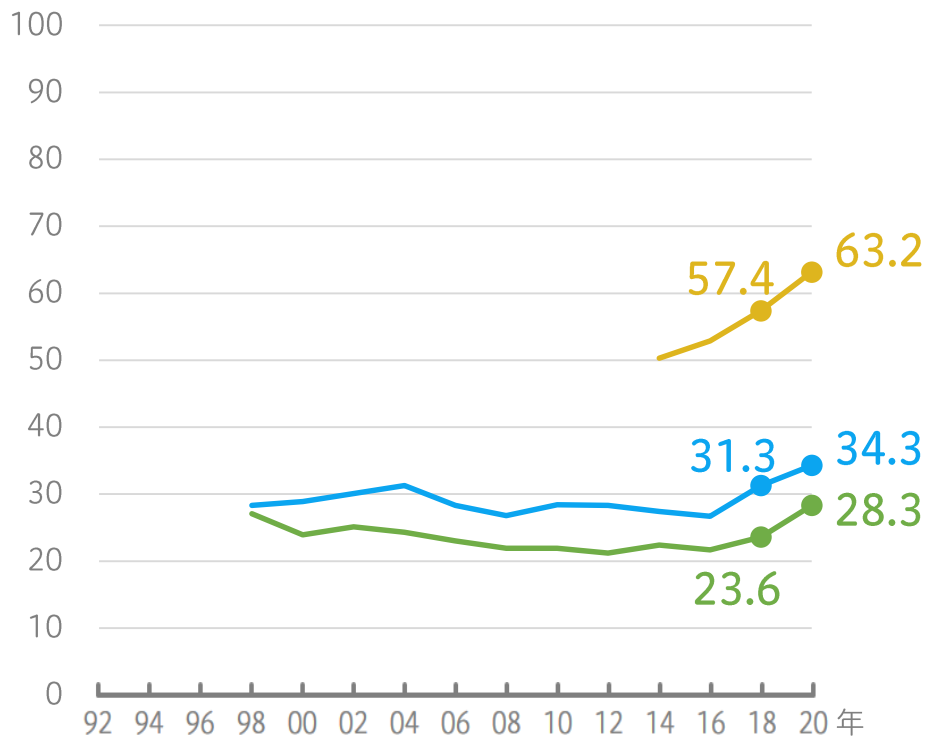
家族メンテナンスの強化



家族とよくおしゃべりする方だ
円満な家族関係に満足している

家族の十分な話し合いに満足している

結婚観の自由化

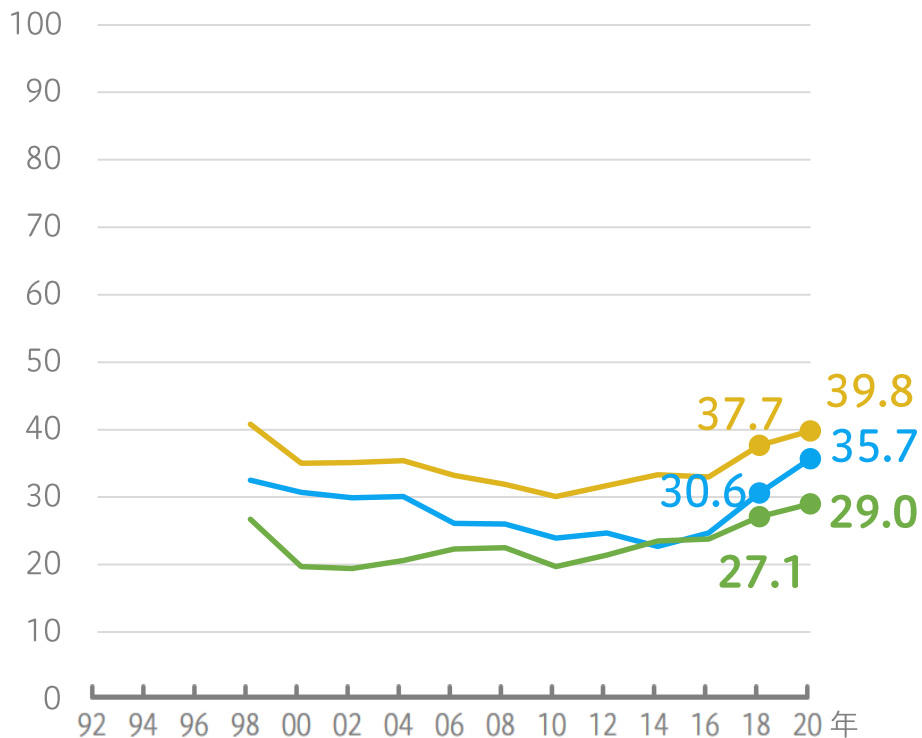


結婚して子供がいなくてもかまわないと思う

未婚で子供がいてもかまわないと思う

充実した人生のためには何度結婚してもかまわないと思う

働き方の個人裁量化



早めに出社しなくても
始業時間に間にあえばかまわないと思う

仕事さえきちんとしていれば
どんな服装でもよいと思う

終業後に予定がある時は
急な仕事でも残業はしない方だ

関係の変化

- ✓ 友だち関係の再編成
- ✓ 家族メンテナンスの強化
- ✓ 結婚観の自由化
- ✓ 働き方の個人裁量化 …



人や社会との「関わり直し」

何も変わらない現実を受け容れ、社会と自分を切り離して小さな幸せを求めだした

「自足」の2010年代



コロナ禍で始まった 2020年代は—

環境の認識

「世の中は変わりうる」意識の覚醒

個人の変化

「わたし基準」による幸せの追求

関係の変化

人や社会との「関わり直し」



生活者のこれから

戻りたい

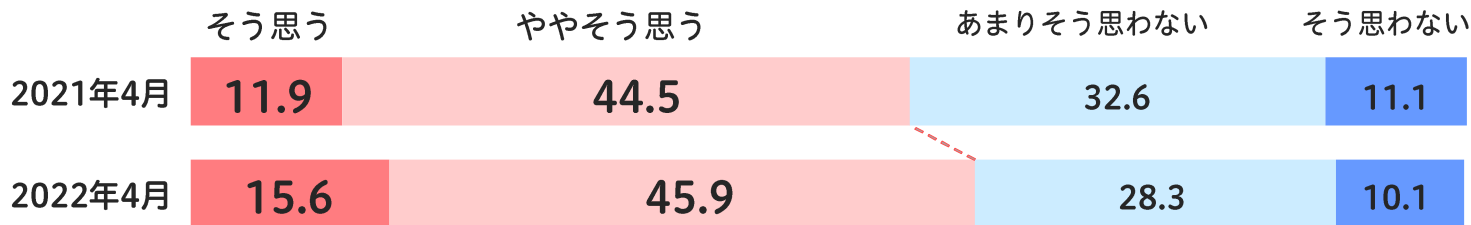
or

続けたい

(戻りたくない)

現在の生活スタイルの維持意向は6割強

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、今の生活スタイルを維持したいですか？



今の生活スタイルを維持したい理由の上位5項目

※維持意向者ベース

- 1位 コロナに限らず感染症が心配だから 41.7%
- 2位 今の生活スタイルに慣れたから 33.0%
- 3位 自分の時間を充実させた生活ができるから 32.4%
- 4位 人とあまり会ったり関わったりしない生活が快適だから 29.6%
- 5位 時間を効率的に使えるから 28.6%

戻りたい or **選びたい** or 続けたい
(戻りたくない)



選択肢が増える



生き方・暮らし方がより多様化する

生活者は、コロナ禍によって
移動や交遊の“我慢”を強いられた。

その一方で

デジタル化やリモート化によって
常識や慣習への“我慢”から解き放たれた。

“ひとり志向”と“慣習からの解放”で
「すべき」「せねばならない」が減っていく



デジタル化/技術進化の加速で
「できる」が増えていく



問われ始めるのは 個人の「したい」

2020年～の生活者潮流

2020年代は、上からの「改革」というよりも、
生活者個々人が暮らしの中で小さな「実験」を繰り返し、
社会を一つずつ上書きしていく—
そんな時代になるのではないだろうか。

暮らし方を「実験」する時代へ



ご紹介した「生活定点」のデータは、生活総研webサイトにて無償提供中です。

<https://seikatsusoken.jp/>



ひらけ、みらい。



ご清聴ありがとうございました。